

第42回熊本県乳牛共進会開催

経産牛の部G C ・松島太一氏（熊本酪農協）所有牛
 未經産牛の部G C ・松島太一氏（熊本酪農協）所有牛



吉田 智貴氏

去る令和5年11月19日（日）、菊池郡大津町の熊本県家畜市場で第42回熊本県乳牛共進会が開催されました。（熊本県酪農業協同組合連合会主催）

県内各地から未經産牛43頭、経産牛30頭の73頭が出品され、熱戦が繰り広げられました。

審査員は吉田智貴氏（北海道酪農家）で、未經産牛5部門、経産牛7部門に分けて序列づけが行われ、各部上位2頭により経産牛グランドチャンピオン、リザーブチャンピオン、未經産牛グランドチャンピオン、リザーブチャンピオンが決定されました。

審査の結果、経産牛グランドチャンピオンには、松島太一氏（熊本酪農協）所有のキーエピソードクラツシヤブル号、経産牛リザーブチャ

ンピオンには、大王隆幸氏（球磨酪農協）所有のDFDタトゥーライオネル号が選ばれました。

未經産牛グランドチャンピオンには、松島太一氏（熊本酪農協）所有のキーユニクスエルレイドET号、未經産牛リザーブチャンピオンには、本田真人氏（菊池地域農協（旭志））所有のアングラデルタラムダトリプルスリー号が選ばれました。

付帯行事として、初の試みとなるジュニアショウが開催され、松島一輝くんが金賞を獲得しました。

また、審査終了後には、生産性向上と体型改良への意識の高揚や、2025年に北海道で開催される全日本ホルスタイン共進会に向けた機運を高めることを目的として、共進会出品者に旅行券や阿蘇ミルク牧場ギフトが当たる抽選会が行われました。



経産牛の部 グランドチャンピオン



名 号	生年月日	出品組合	出品者名
キー エピソード クラツシヤブル	2 9 4	熊本酪農協	松島 太一

未經産牛の部 グランドチャンピオン



名 号	生年月日	出品組合	出品者名
キー ユニクス エルレイド ET	4 7 7	熊本酪農協	松島 太一

MOTHER'S

経産牛の部 リザーブチャンピオン



第10部

名誉賞首席

名号	生年月日	出品組合	出品者名
DFD タトゥー ライオネル	2 3 19	球磨酪農協	大王 隆幸

未經産牛の部 リザーブチャンピオン



第4部

名誉賞首席

名号	生年月日	出品組合	出品者名
アングラ デルタラムダ トリップルスリー	4 6 20	菊池地域農協(旭志)	本田 真人

各部名誉賞首席の紹介

第1部名誉賞首席

名 号		生年月日		
申請中		4	12	1
出品組合	熊本酪農協			
出品者名	松島 太一			



第2部名誉賞首席

名 号		生年月日		
申請中		4	9	12
出品組合	菊池地域農協（旭志）			
出品者名	永田 大貴			



第5部名誉賞首席

名 号		生年月日		
エッセンス デルタラムダ アポロ		4	1	25
出品組合	菊池地域農協（旭志）			
出品者名	永田 大貴			



第6部名誉賞首席

名 号		生年月日		
エバーグリーン エレクトラ モーゼ		3	5	24
出品組合	球磨酪農協			
出品者名	田山 貴史			

MOTHER'S

第7部名誉賞首席

名 号		生年月日		
パッドジョン CHAKO アンデイ キング		3	6	20
出品組合	火の国酪農協			
出品者名	中原 達哉			



第8部名誉賞首席

名 号		生年月日		
インテンション サイドキック キャンデー		3	3	23
出品組合	球磨酪農協			
出品者名	椎葉 晃一郎			

第11部名誉賞首席

名 号		生年月日		
KM タトゥー ブレディー ヘズボーラ		31	1	24
出品組合	ホワイト酪農協			
出品者名	(株) 有田牧場			



第12部名誉賞首席

名 号		生年月日		
ホクトー ソクラテス スプラッシュ		29	1	18
出品組合	菊池地域農協 (七城)			
出品者名	(有) ナガシオ			

MOTHER'S



～佐賀インターナショナルバルーンフェスタ理解醸成活動～

主催：九州酪農青年女性会議

11月4日（土）、九州酪農青年女性会議（中村俊介委員長）が主催する理解醸成活動を佐賀インターナショナルバルーンフェスタ（佐賀市）の会場にブースを設けて行いました。

このイベントは、熱気球の国際競技大会で16の国・地域から125機のバルーンが参加するアジア最大級の規模を誇るイベントで4年ぶりに海外選手も参加する本格開催となり、国内外より約91万人が来場しました。

天候にも恵まれ季節外れの夏日となりましたが、九州各県の酪農女活動関係者約24名が参加して理解醸成活動を行いました。

ブースでは、「くまもと牧場牛乳」（熊本県酪連）をはじめ九州産牛乳を無料試飲会を行い、用意した130%の牛乳が不足するほど大盛況で「美味しい」、「もう一杯欲しいな」の声があがりました。このほか等身大の模擬牛「クルミとクルクル」による搾乳体験、ミルクをあげる哺乳体験にも、多くの親子連れが笑顔で参加しました。

また、今回は、一般社団法人Jミルク（インバウンド等消費拡大対策）と連携して、訪日外国人向けに1,400本のLL牛乳「九州生まれの牛乳」200%（九州生乳販連）を無料配布して大いに国産牛乳のPRを行いました。



第3回酪農後継者育成塾が開催されました

生産本部 営農指導課 久田



本田 真人氏

去る11月10日（金）、令和5年度第3回酪農後継者育成塾が開催され、25名の塾生が受講しました。今回は「優良農場視察」をテーマに、本田真人牧場（JA菊池旭志中央支所）を視察しました。

本田牧場は11月現在、フリーバーン牛舎で経産牛61頭（搾乳牛56頭）を飼養しており、1頭あたりの年間成績は12,000kgを超える高泌乳牛群を管理されています。繁殖成績においても平均搾乳日数178日、分娩間隔418日と優秀な牧場です。

子牛、育成牛、乾乳牛、搾乳牛の飼養環境を視察しながら、管理のポイントについて説明がありました。

本田氏は日々の管理で以下のことを特に重要視されています。

- ①高乾物摂取量：いかに食べさせるか
- ②牛群改良：高ゲノム牛群
- ③コストVS収益

哺育管理については、出生後の子牛は親牛にリッキングさせ臍の消毒を行い、哺乳欲をわかせてからなるべく早く代用初乳製剤の給与を行っています。哺育のポイントは、担当を決めずお二人で哺乳作業をし、目を届かせることが大事であり、また衛生面にもとても気を使っていました。

育成は餌押し作業を一日に4～5回行い、搾乳中も目が届く位置にあることなど、発情発見の工夫をされています。また育成配合を繁殖成績向上のため



細かくされた搾乳牛（左）と乾乳牛（右）の飼料

に冬は増量することもポイントにされています。

移行期管理については、分娩後独房で一週間ほど管理をし、乾物摂取量や飼料の切り替えに留意されています。また、乾乳期の飼料もミキサーで5cmほどにカットして、しっかり食べさせることで周産期トラブルの発生も少なくなっています。このような管理が順調な立ち上がりや受胎に繋がり、結果的に高泌乳に繋がっているのだと思います。

乳牛管理については、暑熱対策として扇風機の位置や細霧設置、サシバエ対策について説明がありました。また、ゲノム検査を活用した牛群改良を続けており、DPR・ネットメリット・乳量などの項目に注目し、高ゲノム牛の採卵を行っています。

最後に本田氏から塾生に向けて、経営をしていく中で「投資」をいかに行うか、経費と収益の話など、日ごろ意識していることについてお話しいただき、受講者も熱心に本田さんの話に聞き入り、活発な意見交換ができました。

今回の本田牧場の視察研修で、牛群改良に加え、哺育期・育成期の牛づくり、乾物摂取量を高める工夫や周産期の管理などの結果が現在の成績に表れているのだと感じました。



後継者育成塾の様子



左：真人さん 右：奥様の沙也香さん



本田牧場牛舎